

11

特集 配合薬時代の降圧薬療法の進め方

糖尿病治療薬領域での配合薬

中谷英章¹⁾、伊藤 裕²⁾

1) 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 特任助教
2) 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 教授

日本における生活習慣病の患者数は非常に多いが、実際に治療を受けている患者数は多くなく、ガイドラインで示されている治療目標値に到達している患者数はさらに少ないのが現状である。近年、生活習慣病治療のため、臨床の場で配合薬の使用頻度が増えてきている。配合薬を使用するメリットとしては、患者の服薬錠数や回数を減らすことによりアドヒアランスを改善できる点や、薬の錠数を増やすことなく治療を強化できる点や、増大する医療費の削減など医療経済的な点も挙げられる。糖尿病薬の配合薬としては現在4種類あり、患者の肥満の有無、インスリン分泌能、インスリン抵抗性の有無、血糖プロファイルの特徴などを総合的に考慮して、使用する薬剤を選択する必要がある。今後、生活習慣病治療のためさまざまな配合薬が発売されることが予想され、アドヒアランスの改善、治療の強化、医療費の抑制のための有用なツールとなると思われる。

はじめに

日本における高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の患者数は非常に多い。しかし、実際に治療を行っている割合は、高血圧症で約73%、糖尿病で約64%、脂質異常症で約43%であり、ガイドラインで示されている治療目標値に到達している患者数は、そのなかでも少ないのが現状である(表1)¹⁾。日本糖尿病学会が作成した『科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン』における2型糖尿病の治療方針では、初期治療である食事療法および運動療法を2~3ヵ月継続しても、目標とする血糖コントロールが達成されない場合に経口血糖降下薬の投与が行われ、さらに、1種類の経口血糖降下薬治療では良好な血糖コントロールが達成できない場合や、次第にコントロールが悪化する場合は、作用機序の異なる2種類の経口血糖降下薬で治療を行うよう推奨している(図1)²⁾。

近年、生活習慣病治療のため、臨床の場で配合薬の使用頻度が増えてきている。配合薬の登場は、科学技術の進歩により2つの異なる成分を安定的にひとつの錠剤にすることが可能となった結果である。配合薬を使用するメリットとしては、患者の服薬錠数や回数を減らすことによりアドヒアランスを改善して、血圧、血糖、脂質レベルのコントロールを良くし、合併症の発症予防を図ることができる点や、コントロールの不十分な患者に対して錠数を増やすことなく治療を強化できる点が考えられる。また、増大する医療費の削減のため薬剤費などを減らすことができるなど、医療経済的にもメリットがあると考えられる。

糖尿病薬の配合薬としては、現在メタクト[®]配合錠(ピオグリタゾン/メトホルミン配合錠)、ソニアス[®]配合錠(ピオグリタゾン/グリメピリド配合錠)、リオベル[®]配合錠(アログリブチン/ピオグリタゾン配合錠)、グルベス[®]配合錠(ミチグリニド/ボグリボース配合錠)が日常診療で使用可能となっているが、糖尿病治療の場合、患者の肥満の有無、インスリン分泌能、インスリン抵抗性の有無、血糖プロファ

表1 高血圧症、糖尿病、脂質異常症の治療状況(文献¹⁾より引用改変)

	男性 (%)		女性 (%)	
	治療中	未治療/中断	治療中	未治療/中断
高血圧	69.2	30.8	78.1	21.9
糖尿病	62.6	37.4	66.6	33.5
脂質異常症	38.7	61.2	48.5	51.6

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c (JDS 値) (%)	5.8 未満	5.8~6.5 未満	6.5~7.0 未満	7.0~8.0 未満	8.0 以上
HbA1c (国際基準値) (%) ^{注)}	6.2 未満	6.2~6.9 未満	6.9~7.4 未満	7.4~8.4 未満	8.4 以上
空腹時血糖値 (mg/dL)	80~110 未満	110~130 未満	130~160 未満		160 以上
食後2時間血糖値 (mg/dL)	80~140 未満	140~180 未満	180~220 未満		220 以上

図1 血糖コントロール指標と評価²⁾

注) HbA1cの国際標準化に伴い、従来のJDS値に0.4%を加えた国際標準値を併記している。

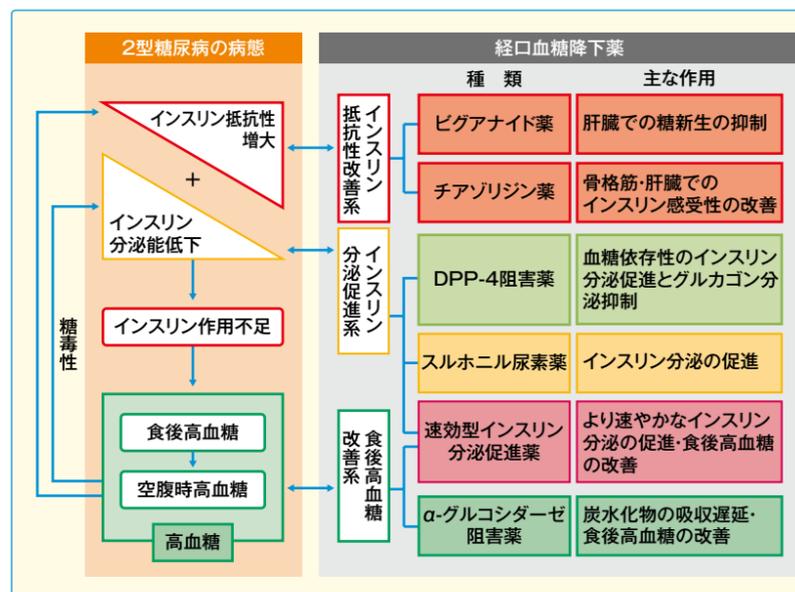


図2 病態に合わせた経口血糖降下薬の選択²⁾

イルの特徴などを総合的に考慮して使用する薬剤を選択する必要がある(図2, 表2, 表3)。

本章では糖尿病薬の配合薬について各々の特徴とその有用性について概説する。

メタクト[®]配合錠

メタクト[®]配合錠はチアゾリジン系薬であるピオグリタゾンとビグアナイド薬であるメトホルミンとの配合薬である。